

好きやねん湖東 第3号

楽しい 敬老会
来年も楽しみにしています

おじゃました敬老会



中一色



下里



中岸本



平柳

湖東地区の高齢者人口（2月10日現在）

| | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 65歳以上 | 男 | 女 | 計 | 高齢化率 |
| | 850人 | 1,244人 | 2,094人 | 22.98% |
| 湖東地区人口 | 男 | 女 | 計 | |
| | 4,423人 | 4,690人 | 9,113人 | |

4つの敬老会におじゃました。
どこの会場の皆さんもお元気そのもの。
笑顔のとても素敵な方ばかりでした。
湖東地区の良さをまた一つ発見したよ
うな気がしました。





ことう ふるさとまつり

今年も 11月3日に開催します

東近江市になりましたが、「ことう ふるさとまつり」は、今年も11月3日に開催します。

「湖東町は無くなったけれど、年に一度は湖東地区のみんなが集まって楽しみ、交流する機会がほしい。」

こんな市民の皆さんの声を生かして「好きやねん湖東＝湖東地区まちづくり協議会」を中核として、各種団体などによる実行委員会をつくり、昨年までのような楽しい「ことう ふるさとまつり」を開催することになりました。

くわしい内容は、今後、実行委員会で検討して、皆さんへお知らせしますが、舞台への出演、テント村への参加、各種展示作品などについては、今からご準備ください。

実行委員会へのご参加を
お待ちしております。

あの「コトナリエ」を多くの方のご協力で成功させたように、「ことう ふるさとまつり」も市民参加で実施します。
ぜひ実行委員会へご参加ください。

出演、出展、作品などを 今からご準備ください。

動き出した「まち協」

7月14日に「すきやねん湖東（湖東地区まちづくり協議会）が発足して3ヶ月。最初の取り組みとしては「コトナリエ2005」の実行委員会に参加し、イルミネーションの取り付けや期間中のジェラート販売に汗を流しました。

今後は、子育てや福祉のことなど、地道に地域の課題に取り組んでいきます。



平成17年度 「好きやねん湖東」役員

| | |
|--------|-------|
| 運営委員長 | 谷川 裕一 |
| 副運営委員長 | 福田 純子 |

| | |
|-----|-------|
| 監 事 | 加藤 正 |
| 監 事 | 村田 佳代 |

| | |
|------|--------|
| 運営委員 | 板倉 成子 |
| 運営委員 | 市田 徳男 |
| 運営委員 | 岡村 巖 |
| 運営委員 | 岡村 佐市郎 |
| 運営委員 | 国松 重子 |
| 運営委員 | 国領 幸枝 |
| 運営委員 | 高田 清 |
| 運営委員 | 高田 徳一 |
| 運営委員 | 田中 宏一 |
| 運営委員 | 夏原 幸男 |
| 運営委員 | 西澤 勝見 |
| 運営委員 | 野村 寮一 |
| 運営委員 | 福島 恭子 |

(五十音順)

今月は、これだ！

元気な、おばあちゃんに聞く！



藤澤 たみ さん

明治41年2月5日生れ 97才 読合堂町

お会いして驚きました。とても、そのような年齢には見えません。耳も目も達者で、記者が大きな声で話さなくても、質問にきちんと答えてくださいました。

たみさんは、旧湖東町で生まれ、結婚して神戸へ。その後、終戦を迎えて故郷の読合堂へ帰ってきました。その間、7人の子宝に恵まれ、今では、9人の孫と3人のひ孫に囲まれて、穏やかな日々を過ごされています。

健康状態は良好で、毎日、新聞を読み、ときには川柳？に親しんでおられます。

今、一番うれしいことは？の質問には、「皆が、大切にしてくれること」だそうです。

おじいちゃん おばあちゃんの 俳句を紹介します。

満月が鈴鹿の嶺より上り来る

湯屋町 松野 正市(八十九歳)

朝涼し気力貫ひて畑手入

小田苺町 村松 きみ(八十九歳)

今日もまた無事を感謝の端居かな

小田苺町 上野 みさ(八十九歳)

夕風の涼しさにゐて草をとる

南菩提寺町 吉田 よ志(八十七歳)

東近江市消防団 第6方面隊 (旧 湖東町消防団) 県大会で準優勝



8月7日(日)、県消防学校(能登川町)で、滋賀県消防操法訓練大会が開催され、湖東地区を守る第6方面隊が、東近江市消防団の代表として出場されました。

この大会は、日ごろの消防操法技術の訓練の成果を競うもので、第6方面隊は、小型動力ポンプの部に出場。3ヶ月におよぶ訓練の成果を発揮され、見事に準優勝されました。



まちかど情報

記者の「ことう健康 夢クラブ」一度は、体験記

今回は、毎週水曜日に行われている「卓球」におじゃましました。午後8時、湖東中学校体育館2階の卓球室ではリズムミカルなピン球の音がこだましていました。

参加者にインタビューしたところ、

『参加の目的は、健康のためです。食べた分だけ楽しんで動けます。』

『学生時代に卓球をしていたので、このクラブができて、またやってみようと思い参加しました。』

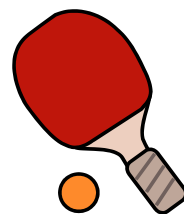
『家族全員で卓球に来ています。汗をかいて気持ちいいので、皆さんも一度来てください』

『ラケットの持ち方を学生時代と変えてみましたが、親切に教えていただけて、うまくできるようになりました。』

と、色々なお話しが聞けました。

卓球は、性別や年代を選ばないスポーツです。初心者の場合はレベルに合わせて相手して下さるとの事で、記者も体験させていただき良い汗をかきました。(^^;)

次回は、「バドミントン」におじゃまする予定です。



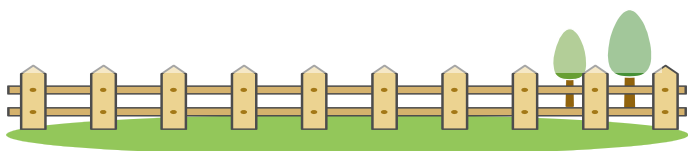
編集後記

朝晩の涼しさに、めっきり秋の気配を感じる、今日この頃です。

自分たちの季節が来たよと、コオロギたちが大合唱を始めました。

人の感性とはいい加減なもので、殺伐とした生活では、この音は騒がしい騒音でしかなく、ゆとりのある生活では、癒しの音色と感じると言います。

さて皆さんは、今、どう感じていますか？



<編集・発行>

湖東地区まちづくり協議会

(事務局)

〒527-0113 東近江市池庄町505番地

東近江市 湖東支所 地域振興課内

TEL 45-3702 FAX 45-1570

E-mail : k-machiky@koto-ken.jp

掲 示 板

秋の湖東句会 のお知らせ

湖東俳句クラブでは、東近江市芸術文化祭参加事業として、10月26日(水)～30日(日)まで湖東図書館にて俳句の展示をさせていただきます。

つきましては、湖東俳句クラブの皆さんはもちろん、一般の方々からも広く俳句を募集します。

また、優秀な作品には東近江市芸術文化祭実行委員会より賞状が贈られます。

出品していただける方は、住所・氏名・電話番号を明記して湖東俳句クラブ【Fax 45-2778】までお送り下さい。

(お一人3句まででお願いします。)

